

〈 彦根おやこ劇場 青年大人例会 〉

～チェルノブイリ原発事故から35年、フクシマ原発事故から10年～

ウクライナの歌姫

カ テ リ ナ コ ン サ ー ト

KATERYNA CONCERT

2021年

8月7日(土)

15:00 開場 15:30 開演

ひこね市文化プラザ

メッセホール

(彦根市野瀬町 187-4)

中学生以上 対象

青田恵子さんの布絵とともに



今年は、「チェルノブイリ原発事故から35年 フクシマ原発事故から10年」ということで、チェルノブイリ原発事故で故郷を失ったカテリーナさんのコンサートに取り組み、また、福島原発事故とともに故郷を失った青田恵子さんの布絵展を行った。



青田恵子さんプロフィール

東京電力福島第一原発の事故後、福島県から大津市に避難。3人の娘の古着を切り貼りして故郷の風景を描き、自作の詩を添えた布絵を作成する。



カテリーナ・グジーさん ウクライナの弦楽器・バンドゥーラ演奏者

ウクライナ・プリピャチ生まれ。(チェルノブイリ原子力発電所から 2.5km 離れた町) 生後 30 日の時にチェルノブイリ原発事故に被災し、一家は町から強制退去させられる。6 才からウクライナの民族楽器バンドゥーラを習い、子ども音楽団「チェルボナ・カリーナ」に所属して海外公演に多数参加。10 歳の時に日本の支援団体の招きで初来日。その時に日本の素晴らしさに感動し、19 歳で音楽活動の拠点を日本に移す。現在、国内外のさまざまな場所で、日本ではまだなじみのないバンドゥーラを広める“伝道師”として活躍をされている。

青年・大人例会「カテリーナコンサート」

2021.8/7 (土) 開場 15:00、開演 15:30、終演 17:00

ひこね市文化プラザ メッセホール 参加者 48 人

チェルノブイリ原発事故から 35 年、フクシマ原発事故から 10 年を迎える。そこで、チェルノブイリ原発事故で故郷を失ったカテリーナさんのコンサートに取り組んだ。

コンサートの取り組みと並行して、福島原発事故で故郷を失い、大津へ移住された青田恵子さんの布絵展を同時に開催した。

当日、大きな楽器バンドゥーラと、両手でも持ち上げられないほど重くて大きなトランクを持ってカテリーナさんが無事に会場に到着した。

カテリーナさんが持参してくださったウクライナの国旗や本と、青田恵子さんの布絵作品を会場の受付前や通路などに展示した。

司会の開演の挨拶とともに、青田さんのメッセージ映像とウクライナの映像が流れる。その後、カテリーナさんの演奏へとつづく。

カテリーナさんの美しい歌声、哀愁のあるバンドゥーラの音色で聞く歌のかずかず。澄んだ歌声が、まっすぐ心に響いてきた。

曲の合間には、バンドゥーラの悲しい歴史の話。続いてカテリーナさんへの質問タイムでは、青年達が積極的に質問をした。

原発のことも、全ては「想像すること」からしか始まらない。

おやこ劇場の活動が、ただ楽しいだけではなく、会員ひとり一人の世界を広げ、可能性を広げ、平和で愛のある社会をつくることにつながってほしいと強く感じるコンサートとなった。

天使のような歌声とバンドウーラの可憐な響き♪ それぞれの故郷への思いを美しい音色にのせて…

◆演奏曲目◆

1. 幸せの鳥
2. お母さん、教えて
3. 金色の花
4. 静かな水の流れ
5. 本当の愛は一回だけさく
6. 母への道 他



バンドウーラ（ウクライナ語: бандура）

ウクライナの民族楽器。弦鳴楽器の一つ。リュート属に分類される。（ザックス・ホルンボステル分類 321.321）西洋のリュートと東洋の琴を合わせたような外見をしている。音色はピアノとギターを合わせたような音色。50 から 60 までの弦が半音階で 5 オクターブに渡って調律されている。

感染対策

その①入場時の検温、手指消毒



その②通路、会場内に布絵を展示。人が分散する工夫を



青田恵子さんの布絵作品展示

布の端切れで描かれた、素朴であたたかくて
なつかしい平和な風景。

そしてそこに添えられた心に迫る言葉の数々。

青田さんの魂のこもった布絵を前に、
自分はどんな社会を望むのかと考えさせられた方
も少なくなかったのではないのでしょうか。



その③会場内の入場の制限（座席設置可能数の1/4）



青田さんのメッセージ

ある日、突然、
ふるさとを奪われるということが
どういうことなのか…

そして、フクシマでおきたことを
2度と繰り返してはならない。

青田恵子さんビデオメッセージには、そ
んな思いが込められていました。

カテリーナさんが育った
ウクライナってどんな国？
ウクライナの豊かな自然、文化、食…
ウクライナについて、
もっと知りたくなりました。



コンサートに参加した方の感想

- ・カテリーナさんのバンドウーラの音色と歌声は、まるで天女のように感じました。カテリーナさんのお人柄とこれまでの人生が表現されていて、貴い時間を与えていただきました。バンドウーラの仕組みやウクライナの歴史のことも知ることが出来て親しく感じられました。
- ・とてもステキな音楽と歌声に心がいやされた気分です。日本語も上手でおしゃべりも楽しかったです。バンドウーラとても素晴らしい民族楽器ですね、ウクライナのことも知れてよかったです。
- ・とても澄み切った歌声で癒されました。弦楽器なのに、ピアノのようなバンドウーラ。素晴らしい音色でした。
- ・バンドウーラ、姿も音色も、今まで聴いた楽器と中でも、特に綺麗でした。弾いてみたいです。ブルー、イエローのウクライナの服もお花の刺繍も、よく似合っておられ美しかったです。

コンサートと同時開催

■ 青田恵子さんの布絵展 ■

開催日程： 8/4(水)～8/11(水)

11:00～17:00

会 場： 野村ビル 1F(銀座町)にて



青田恵子さんの作品を観た方の感想～

心の叫びを見たいなと思いました。

恥ずかしながら、震災から 10 年余り経って、経験していない私は、日々心をとめることもなく、考えることも少ないように思います。

今回偶然ここの展示を見る機会をいただいたのは、何か導かれたのだなと思われました。

これから福島のこと、震災のこと、原発のことなどを考えます。ずっと心にとめて、覚えておきます。未来のために、本当に原発は必要なのか、これからずっと考えていきたいと思っています。

第3583号(水・土曜日発行)

「この国の難民に…」布絵展

福島から滋賀移住の青田さん、銀座で東日本大震災の原発事 津市へ移住してきた青田 故の影響で、福島から大 恵子さん(71)の布絵展

青田さんは南相馬市町の野村ビル1階で開かれていた。

11日まで産根市銀座町の野村ビル1階で開かれていた。

青田さんは南相馬市出身。原発事故後、避難してきた大津で暮らしながら、娘たちの古着を使って故郷の風景や人物を描き、自作の詩を添えた布絵を作っている。

主な詩は、私のからだは福島の土で出来ている心は福島の風と森の匂いで出来ている「この国の難民にさせられた明日はあなたかもしれない」などで、原発の再稼働に警鐘を鳴らす作品もある。

A3判の50点を展示。会場では青田さんをインタビューした映像も流れている。開館は午前11時

午後5時～7日のみ休館。入場無料。

彦根りんご収穫祭 参加無料8日

彦根市中蔵町の彦根りんご園で8日、収穫祭が行われる。

彦根りんごを復活させる会などが2007年11月に約1900平方メートルに整備「平成文化」(平川)の3種類の彦根りんごの苗木を植え、翌年に初めて実をつけて以降、毎年収穫祭を行っている。

15回目今年も収穫を楽しみむほか、彦根城築城400年祭で作られた「晒屋窓」も公開する。持ち帰れる。参加無料、マスク着用。

作品を観覧する来場者

布絵展の様子が、滋賀彦根新聞にて掲載されました。



コロナ禍での公演実現にむけ、感染対策を徹底

日々、変化する感染状況に注視しながら、誰もが安心して参加できる公演を目指し、カテリーナさんや施設側のスタッフとともに、感染防止対策の協議を重ねた。

【事前対策】

- ・打ち合わせは、密を避けるために、電話、ZOOM、LINE を利用。
- ・当日、感染拡大の為、やもなく会場での公演が出来ない場合は、ZOOM を利用した公演（事前交流会）も視野に、同時進行で準備を進める。
- ・国、県のマニュアルをもとに、感染防止マニュアルを作成し、チラシやメーリングを通じ、マスク着用や検温など、感染防止対策の協力を呼びかける。

【当日対策】

- ・会場の感染防止対策の徹底。（会場と連携しながら、換気の徹底、椅子、扉等の消毒を行う）
座席間隔は1M以上を確保（前後左右、1席以上間）
入り口での検温、手指消毒の徹底。
事前に参加者の名前、連絡先の把握を行う。
参加者へ、マスク着用を徹底等、感染対策の呼びかけを行った。
受付等、密をさけるような配置、よびかけを行った。
公演後、座席、使用機器の消毒の徹底。

チラシ：彦根市内の公共施設等にて、チラシ配布、置きチラシにご協力をいただいた。

◆彦根おやこ劇場とは◆

子どもの健全な成長発達を願って 1990 年彦根に生まれた社会教育団体。優れた舞台芸術鑑賞と、野外活動やあそびの会、親子サークル活動、大人の学習会など、様々な活動を通して、子どもも大人も仲間と共に成長していくことを目指しています。



彦根おやこ劇場